



# 洗心

村山市立袖崎小学校  
学校だより  
No.22

令和7年3月6日発行

## 6年生を送る会～寂しいけれど笑顔で～



2月27日(木)、6年生を送る会が開かれました。まず、メモを見ることもなく、堂々とした進行ができる5年生に驚きます。初めは、6年生の好きなもののクイズ。6年生の新たな一面を知りました。続いて委員会



引継ぎが行われ、新旧委員長の思いが語られました。そして、各学年の出し物です。初めに5年生が、かっこいいダンスの後に全校生が書いた手紙をプレゼント。4年生は感謝のメッセージを込めた替え歌。歌う方も聞く方も胸がい



っぱいになりました。2・3年生

は、息の合ったダンスと「ろくねんせい」を頭文字にした感謝の呼びかけ。1年生は、合奏を披露した後、6年生の得意なことを2人のお面をつけて発表しました。最後に6年生が、袖崎小学校の1年間の思い出をオリジナルの漫才にしてくれました。2人の掛け合いに会場は笑いでいっぱいになりました。でも、終わったら少し寂しくなってしまったのか、涙があふれた下級生もいたようです。



この1年間、下級生の前に立ち、一生懸命に考え行動した6年生にも、みんなで準備し心を込めて感謝を伝えた下級生にも、拍手を送りたい素敵な会でした。



も、拍手を送りたい素敵な会でした。

## 雪だるま大会～作戦とチームワークと～



2月27日(木)、青空の下、洗心委員会主催の雪だるま大会が行われました。この日のために特別に編制した縦割りのチームに分かれて、雪だるまの背の高さと胴回りの長さを足した長さで勝敗を競いました。

「どうすれば大きな雪だるまができるだろう。」と頭を寄せ合い思案するチーム、「よいしょ！よいしょ！」と、とにかく雪玉を転がし始めるチーム、上級生が下級生に頭と体の制作役

割を指示するチームとそれぞれに個性的です。

せっかく作った頭が重くて持ち上げられなかったり、やっとのせたら壊れてしまったり、雪をつけすぎてだるまじゃなくなったり。歓声とため息と笑い声が雪のグラウンドに響き渡りました。雪国ならではの楽しい集会をみんなで思い切り楽しみました。

